

Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2024/2/19(月)

マタイ20:1-16

天の御国は、自分のぶどう園で働く者を雇うために出かけた家の主人のようなものだ(1)。

- 最初に雇われた人(2)と、5時ごろに雇われた人が受け取った金額(9-10)はいくらだったかな？
- 彼らは、1デナリを受け取った後、主人に不満を言ったね。どんな不満だったかな？(12)
- それに対する主人の答えは？(13-16)

天の御国に入るのに、私達がどれだけ資産を持っているか、賜物がどれだけあるか、どれだけ神様を喜ばせることをしたか…は関係ない。神の恵みは、皆に平等なんだよ。→★救われてイエスとともにいることの恵み(ルカ23:39-43)を書き出してみよう！

2024/2/20(火)

マタイ20:17-34

- イエス様は、これからどうなるのかをはっきり知りながらエルサレムに向かっているね(17-19)。ここには天の父に対するどのような信頼があるだろうか？
- 20-28節を読んで、君はどのように応答する？君の周りの人間関係において、イエス様の模範にどのように従えば良いだろうか？
- 29-34節：イエス様はご自分の大きな使命のためにエルサレムに向かっていったけど、途中で立ち止まられた。ここにはイエス様のどのような心が表されているだろうか？

2024/2/21(水)

マタイ21:1-11

この出来事は、受難から1週間前のことである。これは旧約聖書の成就であって、イエスが平和をもたらすものとして来られたことを示すものであった。

群衆が服や枝を道に敷いたことは、イエスを政治的な王として受け入れていることを意味していた。エルサレムに住んでいた人々が「この人は誰なのか」と言う一方、群衆は「ナザレからでた預言者」と言っていた。人々はイエスがメシアであるとは理解していなかったようである。イエスはそのような群衆を受け入れ、またご自身を歓迎しなかった人々をも受け入れてくださった。

イエス様が救い主として来てくださったことを感謝しよう！

2024/2/22(木)

マタイ21:12-22

イエスさまは、神殿で生け贄の捧げ物にする動物を売り買いしたり、神殿への納入金を両替する人たちを追い出し、台などを倒された。これはそれ自体がいけないことではなく、暴利をむさぼっていて、祈りの家ではなく強盗の巣と化していたからである。(12.13節)

本来良い動機、必要な動機から始まっていたとしても、人の欲がからんで正しくないものとなってしまっていた。神様を信じる者として、あなたの行動原理はキリストに属していると言えるものとなっているだろうか？

22節「信じて祈り求めるものは何でも受けることになりませう」
神様の計画を期待し、信じ歩もう！！

2024/2/23(金)

マタイ21:23-32

- 23vを読もう。ここでは誰がイエス様に質問しているかな？この人たちは聖書をどのくらい知っていたと思う？
- この人たちはなぜ「わかりません」と答えたんだろう。何を恐れていたのかな？25-26v
- 誰にどう思われているか、気になることってあるよね。評価されるのは仕方ないとしても、それに左右されないためには、イエス様が自分の価値をどう語ってるか知らないといけない。きみはイエス様が自分をどう見てると思う？

2024/2/24(土)

マタイ21:33-46

ぶどう園を作った主人と、農夫、主人の息子が出てくるたとえをイエス様が話しているね。そして民の長老たちは、息子を殺して財産を得ようとした農夫たちは厳しく罰せられるだろうと答えた。

しかし、イエス様は詩篇のことばを用いて、捨てられた石(主人の息子、イエス様)こそが『要の石』になると話したね。

『要の石』は石造の家を作る時に他の石を支えて安定させる、なくてはならないとても大事な石のこと。

イエス様は人がキリストにどう応答するかによって、その後が大きく違うことを教えられたんだ。私たちもイエス様を大切な存在として受け入れていこう！

2024/2/25(日)

マタイ22:1-14

- イエス様は天の御国を何にたとえているかな？
- はじめに王から招待されていた人たちの態度はどのようなものだった？(3-6)。そして彼らの結末はどのようなものになっただろうか？
- 大通りにいた人たちが集められたけれど、その中に婚礼の礼服を着ていない人がいたね。結果その人は追い出されてしまった。

→天の御国でのふさわしい装いとは、どんなものだろうか？古い人(古い生き方)を脱ぎ捨てて新しい人(イエス様にある新しい生き方)を着るようになるというコロサイ3:9-10を思い巡らそう！イエス様の十字架と復活による新しいいのちに歩もう！